報道資料

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和５年１月23日
消　　防　　庁

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等に対する意見公募の結果及び改正告示の公布

消防庁は、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等の内容について、令和４年11月10日から令和４年12月９日までの間、国民の皆様から広く意見を公募したところ、２件の御意見がございました。この結果を踏まえて、本日、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件」等を公布しましたのでお知らせします。

１　主な改正内容

令和４年９月14日に、「消防法施行規則の一部を改正する省令（令和４年総務省令第62号）」及び「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（令和４年消防庁告示第５号）」が公布され、全域放出方式の二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備について、設置及び維持に関する技術上の基準並びにそれに係る点検基準が追加されたことを踏まえ、「消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」及び「消防用設備等試験結果報告書の様式」について所要の規定の整備を行うものです。概要については、別紙２を御覧ください。

２　意見公募の結果

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等の内容について、令和４年11月10日から令和４年12月９日までの間、意見を公募したところ、２件の御意見がございました。

いただいた御意見及び総務省の考え方は、別紙１のとおりです。

３　改正告示の公布

消防庁では、意見公募の結果を踏まえて検討し、以下の改正告示を令和５年１月23日に公布しました。

・消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（令和５年消防庁告示第１号）別紙３
・消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件（令和５年消防庁告示第２号）別紙４

（事務連絡先）
消防庁予防課　米田課長補佐、恩村
TEL　03-5253-7523（直通）
MAIL　yobo@soumu.go.jp

別紙１

【消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等に対して提出された御意見及び御意見に対する考え方】

番号	御意見の概要	御意見に対する考え方	提出意見を踏まえた案の修正の有無
No.1	標識の場所と表示を書かない方が良いと思います。	消防法施行規則の一部を改正する省令（令和4年総務省令第 62 号）による改正後の消防法施行規則第 19 条第5項第 19 号イ（ホ）においては、標識の設置場所と表示内容の両方を定めております。 設置場所と表示内容の両方が適切であることを確実に確認して頂くために、試験結果報告書の様式についても標識の場所と表示で記入欄を分けていることから、原案通りとします。	無
No.2	1．消防法施行規則の一部を改正する省令（令和4年総務省令第 62 号。以下「改正省令」という。）により追加された基準の中に、「点検時にとるべき措置を定めた関係図書の備付け」という記載があるため、点検票の様式の中に「図書の備付け」の確認欄を設けるべきではないか。 2．起動用ガス容器の設置に係る改正省令の経過措置の対象か否かを区別するため、施工年月を記載する欄を設けるべきではないか。 3．改正省令により追加された基準は二酸化炭素消火設備にのみ該当するものがほとんどであり、令和4年 11 月 24 日付け消防予第 573 号により通知されたガイドラインを踏まえても、二酸化炭素消火設備は	1．ご指摘の「図書の備付け」は点検基準上「制御盤の予備品等」に含まれるものと整理しており、点検票上も同様となることから、原案通りとします。なお、点検要領の「制御盤の予備品等」の項目の「判定方法」に工事、整備及び点検時においてとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた図書が備えてあることといった文言を加える予定です。 2．消防本部において個々の防火対象物の設置年月日は把握しており、経過措置の対象か否かを点検票で把握できなくても支障はないことから、原案通りとします。 3．二酸化炭素消火設備はその他の不活性ガス消火設備とは異なる基準を設けている部分もありますが、その他の不活性ガス消火設備と共通する基準も多く、共通の様式を使用していても特段支障はないことから、原案通りとします。	無

	他の不活性ガス消火設備とは全く別の設備として捉えた方が適切ではないか。 　以上のことから、不活性ガス消火設備の様式から切り離し、新たに二酸化炭素消火設備の様式を制定するべきではないか。 【新日本コーポレーション株式会社】		

◯意見提出者数：2件

※1　提出意見数は、意見提出者数としています。

※2　とりまとめの都合上、いただいた御意見は要約し、類似する意見をとりまとめる等の整理をしております。

別紙２

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）及び消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件（案）について

令　和　５　年　１　月
消　防　庁　予　防　課

【概要】

令和４年９月 14 日に、「消防法施行規則の一部を改正する省令（令和４年総務省令第 62 号。以下「改正省令」という。）」及び「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（令和４年消防庁告示第５号。以下「改正告示」という。）」が公布され、全域放出方式の二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備（以下「二酸化炭素消火設備」という。）について、設置及び維持に関する技術上の基準並びにそれに係る点検基準が追加されたことを踏まえ、「消防用設備等試験結果報告書の様式」及び「消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」について所要の規定の整備を行う。

１．消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）について

【改正内容】

改正告示により、二酸化炭素消火設備の点検基準に標識、AND 回路制御機能及び緊急停止装置の点検項目が追加されたことや、閉止弁の点検項目が外見と機能に細分化されたことを踏まえ、「消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」に、これらの点検結果の記載欄を追加する。

【施行期日】令和５年４月１日

２．消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件（案）について

【改正内容】

改正省令により、二酸化炭素消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準に、標識、AND 回路制御機能及び緊急停止装置に関する事項が追加されたことを踏まえ、「消防用設備等試験結果報告書の様式」に、これらの試験結果の記載欄を追加する。

【施行期日】令和５年４月１日

別紙３

○消防庁告示第一号

平成十六年消防庁告示第九号（消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式）第四の規定に基づき、昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）の一部を次のように改正する。

令和五年一月二十三日

消防庁長官　前田　一浩

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。

改　正　後

別記様式第６　（その１）

不活性ガス（二酸化炭素、窒素、IG-55、IG-541）消火設備点検票(区 画 名：　　)
(設備方式：全域・局所・移動)

名　称		防火管理者	
所　在		立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年　月　日～　年　月　日
点検者	氏名	点検者所属会社	社名　TEL
			住所

点検項目				点検結果			措置内容
				種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機器点検							
消火剤貯蔵容器等	消火剤貯蔵容器	周囲の状況					
		外形					
		表示・標識					
	高圧式	※消火剤量		本			
		容器弁	外形				
			安全性				
		安全装置	外形				
			安全性				
		容器弁開放装置	外形				
			電気式				
			ガス圧式				
	低圧式	消火剤量		kg			
		液面計・圧力計					
		圧力警報装置・安全装置等					
		自動冷凍機					
		放出弁					
		放出弁開放装置	外形				
			電気式				
			ガス圧式				
		バルブ類					
	連結管・集合管						
起動用ガス容器等	起動用ガス容器	外形					
		表示					
	※ガス量			本			
	容器弁	外形					
		安全性					
	安全装置	外形					
		安全性					
	容器弁開放装置	外形					
		電気式					
		手動式					

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格A４とすること。
2　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
6　※印のあるものは、（その5）に容器ごとの点検結果を記入すること。

改　正　前

別記様式第６　（その１）

不活性ガス（二酸化炭素、窒素、IG-55、IG-541）消火設備点検票(区 画 名：　　)
(設備方式：全域・局所・移動)

名　称		防火管理者	
所　在		立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年　月　日～　年　月　日
点検者	氏名	点検者所属会社	社名　TEL
			住所

点検項目				点検結果			措置内容
				種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機器点検							
消火剤貯蔵容器等	消火剤貯蔵容器	周囲の状況					
		外形					
		表示・標識					
	高圧式	※消火剤量		本			
		容器弁	外形				
			安全性				
		安全装置	外形				
			安全性				
		容器弁開放装置	外形				
			電気式				
			ガス圧式				
	低圧式	消火剤量		kg			
		液面計・圧力計					
		圧力警報装置・安全装置等					
		自動冷凍機					
		放出弁					
		放出弁開放装置	外形				
			電気式				
			ガス圧式				
		バルブ類					
	連結管・集合管						
起動用ガス容器等	起動用ガス容器	外形					
		表示					
	※ガス量			本			
	容器弁	外形					
		安全性					
	安全装置	外形					
		安全性					
	容器弁開放装置	外形					
		電気式					
		手動式					

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格A４とすること。
2　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
6　※印のあるものは、（その5）に容器ごとの点検結果を記入すること。

別記様式第６　　不活性ガス消火設備（その２）

選択弁	本体	外形					
		表示					
		機能					
	開放装置	外形					
		電気式					
		ガス圧式					
操作管・逆止弁		外形					
		機能					
標識							
起動装置	手動式起動装置	周囲の状況					
		操作箱					
		表示					
		電源表示灯					
		音響警報起動用スイッチ					
		放出用・非常停止用スイッチ					
		表示灯					
		保護カバー					
	自動起動装置	火災感知装置	専用　兼用				
		自動・手動切替装置					
		自動・手動切替表示灯					
		ＡＮＤ回路制御機能					
	緊急停止装置						
警報装置	外形						
	音響警報						
	音声警報						
制御盤	周囲の状況						
	外形						
	表示						
	電圧計		Ｖ				
	開閉器・スイッチ類						
	ヒューズ類		Ａ				
	継電器						
	表示灯						
	結線接続						
	接地						
	遅延装置		秒				
	自動・手動切替機能						
	放出制御機能						
	制御盤用音響警報装置						
	予備品等						

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
　　２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
　　３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
　　４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
　　５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第６　　不活性ガス消火設備（その２）

選択弁	本体	外形					
		表示					
		機能					
	開放装置	外形					
		電気式					
		ガス圧式					
操作管・逆止弁		外形					
		機能					
起動装置	手動式起動装置	周囲の状況					
		操作箱					
		表示					
		電源表示灯					
		音響警報起動用スイッチ					
		放出用・非常停止用スイッチ					
		表示灯					
		保護カバー					
	自動起動装置	火災感知装置	専用　兼用				
		自動・手動切替装置					
		自動・手動切替表示灯					
警報装置	外形						
	音響警報						
	音声警報						
制御盤	周囲の状況						
	外形						
	表示						
	電圧計		Ｖ				
	開閉器・スイッチ類						
	ヒューズ類		Ａ				
	継電器						
	表示灯						
	結線接続						
	接地						
	遅延装置		秒				
	自動・手動切替機能						
	放出制御機能						
	制御盤用音響警報装置						
	予備品等						

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
　　２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
　　３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
　　４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
　　５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第６　　不活性ガス消火設備（その３）

配管等	管・管継手					
	支持金具・つり金具					
	閉止弁	外形				
		機能				
配管の安全装置等	安全装置					
	破壊板					
消火剤等排出措置						
圧力上昇防止措置						
放出表示灯						
噴射ヘッド	外形					
	放射障害					
防護区画	区画変更等					
	開口部の自動閉鎖装置	外形				
		電気で作動するもの				
		ガス圧で作動するもの				
防護区画に隣接する部分の保安措置	設定範囲					
	保安措置	消火剤排出措置				
		放出表示灯				
		警報装置	外形			
			音響警報			
			音声警報			
		注意銘板				
非常電源（内蔵型）	外形					
	表示					
	端子電圧		V			
	切替装置					
	充電装置					
	結線接続					
ホース等	周囲の状況					
	格納箱					
	ホース		m			
	ホースリール					
	ノズル					
	ノズル開閉弁					
表示灯・標識（移動式）						
耐震措置						

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
　　２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
　　３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
　　４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
　　５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第６　　不活性ガス消火設備（その３）

配管等	管・管継手					
	支持金具・つり金具					
	閉止弁					
配管の安全装置等	安全装置					
	破壊板					
消火剤等排出措置						
圧力上昇防止措置						
放出表示灯						
噴射ヘッド	外形					
	放射障害					
防護区画	区画変更等					
	開口部の自動閉鎖装置	外形				
		電気で作動するもの				
		ガス圧で作動するもの				
防護区画に隣接する部分の保安措置	設定範囲					
	保安措置	消火剤排出措置				
		放出表示灯				
		警報装置	外形			
			音響警報			
			音声警報			
		注意銘板				
非常電源（内蔵型）	外形					
	表示					
	端子電圧		V			
	切替装置					
	充電装置					
	結線接続					
ホース等	周囲の状況					
	格納箱					
	ホース		m			
	ホースリール					
	ノズル					
	ノズル開閉弁					
表示灯・標識（移動式）						
耐震措置						

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
　　２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
　　３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
　　４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
　　５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第６　　不活性ガス消火設備（その４）

総合点検						
全域放出方式・局所放出方式	全域放出方式	警報装置				
		遅延装置	秒			
		開口部の自動閉鎖装置等				
		起動装置・選択弁				
		配管・配管接続部				
		放出表示灯				
	局所放出方式	警報装置				
		起動装置・選択弁				
		配管・配管接続部				
移動式	ノズル開閉弁					
	ホース・ホース接続部					
備考						

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第６　　不活性ガス消火設備（その４）

総合点検						
全域放出方式・局所放出方式	全域放出方式	警報装置				
		遅延装置	秒			
		開口部の自動閉鎖装置等				
		起動装置・選択弁				
		配管・配管接続部				
		放出表示灯				
	局所放出方式	警報装置				
		起動装置・選択弁				
		配管・配管接続部				
移動式	ノズル開閉弁					
	ホース・ホース接続部					
備考						

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第６

不活性ガス消火設備（その５）

番号	容器番号	二酸化炭素の場合			その他の消火剤		点検年月日及び容器表面温度			
		全質量 (kg)	空質量 (kg)	消火剤量 (kg)	消火剤量 (m^3)	充てん圧力 (20℃) (MPa)	年 月 日 ℃	年 月 日 ℃	年 月 日 ℃	年 月 日 ℃
							点検時の消火剤量（kg）又は容器内圧力（MPa）			

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

別記様式第６

不活性ガス消火設備（その５）

番号	容器番号	二酸化炭素の場合			その他の消火剤		点検年月日及び容器表面温度			
		全質量 (kg)	空質量 (kg)	消火剤量 (kg)	消火剤量 (m^3)	充てん圧力 (20℃) (MPa)	年 月 日 ℃	年 月 日 ℃	年 月 日 ℃	年 月 日 ℃
							点検時の消火剤量（kg）又は容器内圧力（MPa）			

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

附　則

この告示は、令和五年四月一日から施行する。

別紙４

○消防庁告示第二号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第三十一条の三第五項の規定に基づき、平成元年消防庁告示第四号（消防用設備等試験結果報告書の様式）の一部を次のように改正する。

令和五年一月二十三日

消防庁長官　前田　一浩

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。

改　正　後

別記様式第６　①

不活性ガス消火設備試験結果報告書

試験実施日　　年　　月　　日

試験実施者

住　所

氏　名

設置場所	設置階	防護対象物の種別			
放出方式	固定式　全域放出方式　局所放出方式			設計放出時間　sec	
	移動式			設計放出時間　sec	
試験項目				種別・容量等の内容	結果
外観試験	貯蔵消火剤等			種別　量　kg	
	貯蔵容器等	設置場所等	設置場所	―――	
			表示・標識	―――	
		機器	貯蔵容器	―――	
			表示	―――	
			充てん比等	―――	
			容器弁	―――	
			容器弁開放装置	―――	
			安全装置・破壊板	―――	
	起動用ガス容器	設置場所等			
		機器	構造等	―――	
			容器弁	―――	
	選択弁	設置場所等	設置場所		
			表示	―――	
		機器	導管接続部等	―――	
			構造	―――	

改　正　前

別記様式第６　①

不活性ガス消火設備試験結果報告書

試験実施日　　年　　月　　日

試験実施者

住　所

氏　名

設置場所	設置階	防護対象物の種別			
放出方式	固定式　全域放出方式　局所放出方式			設計放出時間　sec	
	移動式			設計放出時間　sec	
試験項目				種別・容量等の内容	結果
外観試験	貯蔵消火剤等			種別　量　kg	
	貯蔵容器等	設置場所等	設置場所	―――	
			表示・標識	―――	
		機器	貯蔵容器	―――	
			表示	―――	
			充てん比等	―――	
			容器弁	―――	
			容器弁開放装置	―――	
			安全装置・破壊板	―――	
	起動用ガス容器	設置場所等			
		機器	構造等	―――	
			容器弁	―――	
	選択弁	設置場所等	設置場所		
			表示	―――	
		機器	導管接続部等	―――	
			構造	―――	

不活性ガス消火設備　②

試験項目					種別・容量等の内容	結果
外観試験	標識		設置場所		―――	
			表示		―――	
	起動装置	手動起動装置	設置場所等	設置場所		
				設置位置	―――	
				設置高さ	床面からの高さ　m	
				設備表示	―――	
				取扱表示	―――	
			機器	塗色等	―――	
				防護措置	―――	
				表示灯	―――	
				スイッチ	―――	
		自動起動装置	設置場所等			
			機器	手動・自動切替装置	―――	
				構造等	―――	
				感知器	―――	
		緊急停止装置			―――	
	警報装置		設置位置		―――	
			機器	警報方式	―――	
				音声再生装置の設置場所	―――	
				構造・性能	―――	
	制御装置		設置場所等			
			機器等	制御盤	―――	
				表示等・スイッチ類	―――	
				防護措置	―――	
				遅延装置	―――	
				自動・手動切替装置	―――	
	配管・バルブ等		配置状況		―――	
			配管系路		―――	
			操作管・逆止弁		―――	
			閉止弁	設置場所		
				表示	―――	
				配管・配線接続部	―――	
				機器構造	―――	

不活性ガス消火設備　②

試験項目					種別・容量等の内容	結果
外観試験	起動装置	手動起動装置	設置場所等	設置場所		
				設置位置	―――	
				設置高さ	床面からの高さ　m	
				設備表示	―――	
				取扱表示	―――	
			機器	塗色等	―――	
				防護措置	―――	
				表示灯	―――	
				スイッチ	―――	
		自動起動装置	設置場所等			
			機器	手動・自動切替装置	―――	
				構造等	―――	
				感知器	―――	
	警報装置		設置位置		―――	
			機器	警報方式	―――	
				音声再生装置の設置場所	―――	
				構造・性能	―――	
	制御装置		設置場所等			
			機器等	制御盤	―――	
				表示等・スイッチ類	―――	
				防護措置	―――	
				遅延装置	―――	
				自動・手動切替装置	―――	
	配管・バルブ等		配置状況		―――	
			配管系路		―――	
			操作管・逆止弁		―――	
			閉止弁	設置場所		
				表示	―――	
				配管・配線接続部	―――	
				機器構造	―――	
			構造・材質		―――	
			口径・使用数等		―――	

不活性ガス消火設備　③

試験項目				種別・容量等の内容			結果
外観試験	配管・バルブ等	構造・材質		―――			
		口径・使用数等		―――			
		安全装置等		―――			
	噴射ヘッド	設置位置					
		構造・性能		―――			
	防護区画等	防護区画		―――			
		開口部の自動閉鎖装置		―――			
		消火剤を付加する開口部面積		―――			
		消火剤流出防止措置		―――			
		開口部の位置		―――			
		消火剤排出措置					
		圧力上昇措置					
		防護区画に隣接する部分の保安措置	消火剤排出措置	―――			
			放出表示灯	―――			
			警報装置	―――			
	電源	常用電源		V			
		非常電源の種別		自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備			
	ノズル・ホース等	設置位置		―――			
		構造・性能		―――			
		表示灯・標識		―――			
	耐震措置			―――			
機能試験	作動試験	防護区画					
		制御装置試験	AND回路制御機能作動状況				
			遅延時間				
			緊急停止装置作動状況				
			音響警報先行作動状況				
			自動・手動切替作動状況				
			異常信号試験 短絡試験				
			異常信号試験 地絡試験				
		音響警報装置試験	起動装置による作動状況				
			警報鳴動状況				

不活性ガス消火設備　③

試験項目				種別・容量等の内容			結果
外観試験		安全装置等		―――			
	噴射ヘッド	設置位置					
		構造・性能		―――			
	防護区画等	防護区画		―――			
		開口部の自動閉鎖装置		―――			
		消火剤を付加する開口部面積		―――			
		消火剤流出防止措置		―――			
		開口部の位置		―――			
		消火剤排出措置					
		圧力上昇措置					
		防護区画に隣接する部分の保安措置	消火剤排出措置	―――			
			放出表示灯	―――			
			警報装置	―――			
	電源	常用電源		V			
		非常電源の種別		自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備			
	ノズル・ホース等	設置位置		―――			
		構造・性能		―――			
		表示灯・標識		―――			
	耐震措置			―――			
機能試験	作動試験	防護区画					
		制御装置試験	遅延時間				
			非常停止機構作動状況				
			音響警報先行作動状況				
			自動・手動切替作動状況				
			異常信号試験 短絡試験				
			異常信号試験 地絡試験				
		音響警報装置試験	起動装置による作動状況				
			警報鳴動状況				
			音量				
			音声警報装置作動状況				

不活性ガス消火設備　④

試験項目				種別・容量等の内容			結果
機能試験	作動試験	音響警報装置試験	音量				
			音声警報装置作動状況				
			自動警報作動状況				
		容器弁開放装置作動試験					
		選択弁作動試験					
		閉止弁作動試験					
		消火剤排出試験					
		附属装置連動試験	作動状況				
			復旧操作状況				
		放出表示灯試験					
		防護区画に隣接する部分の保安措置試験	消火剤排出状況				
			作動状況				
			警報装置作動状況				
		自動冷凍機試験	始動状況	―――			
			電流	A			
			温度・圧力値	℃	MPa		
総合試験	総合作動試験	全域放出方式又は局所放出方式	選択弁作動状況・放出系路				
			通気状況				
			気密状況				
			区画別貯蔵容器開放数				
			音響警報装置作動状況				
			放出表示灯点灯状況				
			附属装置作動状況				
		移動式	移動式作動状況				
備考							

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
3　結果の欄には、良否を記入すること。
4　非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
5　総合操作盤の設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

不活性ガス消火設備　④

試験項目				種別・容量等の内容			結果
機能試験	作動試験		自動警報作動状況				
		容器弁開放装置作動試験					
		選択弁作動試験					
		閉止弁作動試験					
		消火剤排出試験					
		附属装置連動試験	作動状況				
			復旧操作状況				
		放出表示灯試験					
		防護区画に隣接する部分の保安措置試験	消火剤排出状況				
			作動状況				
			警報装置作動状況				
		自動冷凍機試験	始動状況	―――			
			電流	A			
			温度・圧力値	℃	MPa		
総合試験	総合作動試験	全域放出方式又は局所放出方式	選択弁作動状況・放出系路				
			通気状況				
			気密状況				
			区画別貯蔵容器開放数				
			音響警報装置作動状況				
			放出表示灯点灯状況				
			附属装置作動状況				
		移動式	移動式作動状況				
備考							

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
3　結果の欄には、良否を記入すること。
4　非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
5　総合操作盤の設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

附　則

この告示は、令和五年四月一日から施行する。